

2019年度 東京藝術大学油画科特別講座
村山悟郎 + 菅亮平合同ゼミ 2

S

【意味と形式】

- 1 : 2020年01月22日(水) 上野校地中央棟第3講義室
2 : 2020年01月23日(木) 上野校地中央棟第3講義室
(時間: 17:00 - 19:00 | 対象: 全学生のうち希望者)

日本は他国と国境を接していない島国という地政学的特性があり、したがって他者との差異を自らの国、地域、民族、宗教、社会的背景、美術史の中から意味づけすることの風習的要請に乏しい背景があります。油画科非常勤講師の村山悟郎および菅亮平による本講座では、作品のコンセプトを形成する二つの軸である「意味と形式」をテーマとし、グローバリゼーションの限界と再構築が進む今日の世界情勢において、アーティストとしてのアイデンティティの在り方について考察します。一日目は、両講師による作品制作とその理論的背景に関するレクチャーを経て、参加学生を交えたディスカッションを行います。二日目は、油画1～3年生が年度末の講評会に提出した作品の中から本テーマの検討に適した作例を両講師が選定し、作品のプレゼンテーションを学生に依頼します。各自の発表後は、それぞれの作品における意味と形式の認識的配置を確認し相互に批評し合うことで、自身の制作を省みる機会となることを目指します。

授業用ウェブサイト: <http://class-ryoheikan.strikingly.com>

担当: 東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻非常勤講師 村山悟郎 / 菅亮平

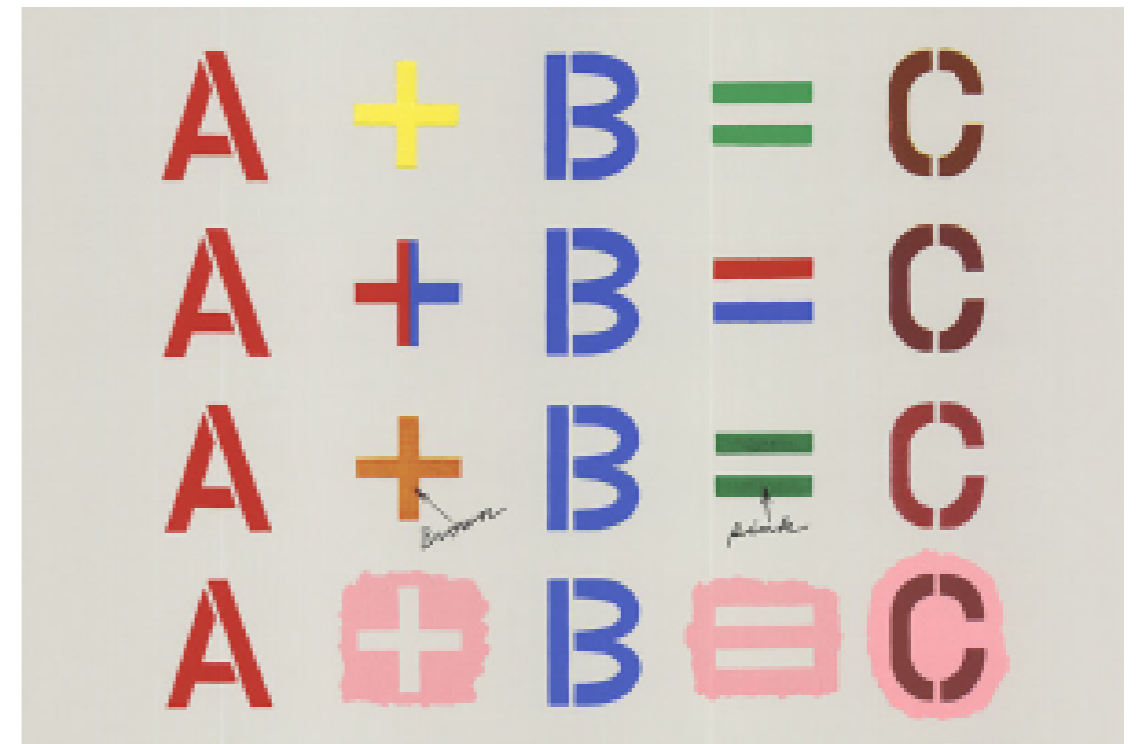


Image: Shusaku Arakawa, 10 Reassembling (detail), 1972

《講座のプログラム》

01/22

1. 講師によるレクチャー
(各講師の作品制作とその理論的背景)
2. 参加学生を交えたディスカッション

01/23

1. 学生による作品のプレゼンテーション
(年度末の講評会への提出作品から選定)
2. 参加学生を交えたディスカッション
3. 食事会 (自由参加)